

委員会報告

2019～2020年度

No.1

第 2 回

委員会名

アラート委員会

委員長名

L 野村 起成

開催日時	2019年 10月 17日 木曜日 15時 45分 ～ 18時 00分					
開催場所	キャビネット事務局会議室					
	欠	伊賀地区ガバナー	欠	進藤第1副地区ガバナー	欠	中井第2副地区ガバナー
	○	L 野村 起成委員長	○	L 市村 一敏副委員長	○	L 北岡 知子副委員長
	○	L 酒井 徹 副委員長	○	L 伊藤 委員	○	L 廣瀬 委員
	○	L 浅田 委員	○	L 芝田 委員	○	L 中原 委員
	○	L 常盤 委員	欠	L 伊藤 委員	欠	L 木下 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
	出席オブザーバー					
	○	担当副幹事 L柴田				
次 第	司会・進行 L市村 議事録・書記 L酒井					
1	委員長挨拶（委員長挨拶）、常盤L挨拶					
2	前回議事録確認					
3	キッズフェスタ報告（伊藤L、会計報告→北岡L）					
4	千葉被災地支援報告（野村L）、武雄被災地支援報告（市村L）					
5	アンケート結果報告（北岡L）、炊き出し企画（市村L）、災害掲示板・連絡網構築（北岡L）、自衛隊を中心とした公的団体支援研究会開催（酒井L）、災害マニュアル（北岡L）					
6	キャビネットより（柴田副幹事）					
7	次回委員会について					
議 題	審議経過事項の概要					
1	委員長挨拶（台風の影響に対するアラート委員会の立ち位置）					
2	9月に開催されたキッズフェスタに関する結果報告と所感					
3	千葉被災地支援（15号）と武雄被災地支援					
4	前回の委員会の際に発案した各議題についての検討、研究した結果、ガバナーに対し発議し反応を頂いた。					
	1. アンケート結果報告					
	2. 災害掲示板・連絡網					
	3. 災害マニュアル					
	4. 自衛隊広報支援研究会					
	5. 炊き出し支援					
5	台風19号の被害に対するジャパンアラートの活動とアラート委員会の今後					
6	キャビネットより（柴田副幹事）					
次回開催日時	2019年 11月 21日 木曜日 15時 00分 ～ 18時 00分					
場所	キャビネット事務局小会議室					

議 題

審議経過事項の概要

1	委員長挨拶
	アラート委員会は災害支援に対して発生直後に現地に赴き支援活動する
	チームではなく、全体を見渡し、行動指針を策定したり、情報整理、物資や人員の
	マネジメントをするチームである。現状の災害支援対策の新しい取り組みとして非常に
	期待されている。何年間も放置されていたものが、この数カ月で進行している。
2	キッズフェスタ報告(伊藤L、会計報告→北岡L)
	雨天の影響もあるが、動員見込み数2万名が5千名を割ったであろう。
	隣のフリーマーケットと連動なく、流れてくる客もいなかった。子供来場者数も少ない
	野村委員長がキャビネットの依頼を受け、そのまま私費で負担した部分があり、
	キャビネットの意図する当該企画目的が不明瞭につき、今後は委員会としての参加は
	委員会全体で再検討する。(このまま未検討では参加しない)
	会計報告:災害募金(¥15,789)含み64,853円の現金残。使い道について委員長より
	アラート専用ベストの費用にして、委員会の資産として次年度へ渡してはどうか?
	との提案あり。満場一致で可決。会計報告詳細は別紙にて配布
3	台風15号被害による千葉県秋本地区へ炊き出し支援報告(野村L)
	東京レスキューLCとして支援に参加。伊藤Lも手伝いに駆け付けた。
	ガバナーの意志である「たすきをつなぐ」活動を前提にし、ある程度の支援の
	土台が出来たら地元LCにバトンタッチする。このような活動は各地域LCと
	広い協力体制を構築し、ネットワークを作る意味もある。
	現状千葉は95%が通電。しかし、君津の200戸は未復旧。青森ZEROLCが3日間炊き出し
	秋本小学校、三原小学校では子供たちにちゃんこ鍋を炊き出し。600名分。
	・調理師免許なしでも非常事態ということで許されるものである。
	・ハエが非常に多く、衛生面が気になる点。
	こういった実際の支援活動にアラート委員会が主体となり、現地で実働するのではなく、
	あくまで各地のライオンズクラブを動きやすくするための下地を作ることが重要
	委員会において、参加可能かどうか各委員の私的都合もあると思うがなるべく参加し、
	他のLCとつながることを念頭におきながら皆で参加できることを希望する。

議 題	審議経過事項の概要
4	<p>8.23に発生した佐賀県武雄市水害被災地炊き出し支援報告(市村L)</p> <p>東京と地方のLCの根本的な違いがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京のLCは地元密着型ではなく、居住地が他地域にあるメンバーで構成されている ・地方は地域密着型であり被災した場合の状況がメンバーで同じため、纏まり易い <p>地元同士の連携が取れていると、ライオンズクラブという垣根を越えて 地元の団体同士が連携している。</p> <p>例:炊き出しの場合、LCだけでなく地元婦人会や地元栄養士協会等地元コミュニティと 連携して40日間以上、毎日200名分の炊き出し支援を行っている</p> <p>炊き出しの重要性→行政からの配給は非常食が多く、味や栄養に偏りがあるため衰弱 することを防ぎ、温食を配ることで飽きさせない、精神面での安定、健康支援</p> <p>どの地域でも社会福祉協議会がボランティアセンターの核になる。 社会福祉協議会敷地内にプレハブ小屋を建て、そこが活動拠点となる。</p> <p>337-C地区(佐賀・長崎地区のLC)はクラブ内にアラート委員を設置し、年間予算として アラート活動費を計上、当年未使用の場合は次年度に繰り越し積立し、災害支援活動は その費用で賄う。LCIFを通して非常時用の支援金を活用する、、地区内各クラブの 積立金によるカンパとLCIF災害支援金を活用し、合計800万円となった。</p>
6	<p>1.アンケート結果報告(北岡L、伊藤L)…結果は別書式にて配布</p> <p>調査表をキャビネットから発信した結果、反応があったLCだけをまとめてある。</p> <p>結果をガバナーに報告→全体公開はなしで、委員会だけで情報共有するように指示あり 全体的に備えや備蓄があるLCは限られている。倉庫などの場所の確保の問題もある</p> <p>浅田L「我が家の備え」…戸建て用の備蓄リスト 別書式にて配布</p> <p>→都内はマンション住まいも多いので、マンション用の作成をしてみてもどうか？ →10日間は自活できるように道具類を備蓄している。支援をするためにはまずは 自分の備えを！</p> <p>2. 災害掲示板・連絡網(北岡L・伊藤L)…別書式にて配布</p> <p>連絡網は、台風19号の直撃後に10,11,12,13,14の各Rの被災状況情報収集で活用した。 330A地区のHPで見られるようにできるか？キャビネットに確認したが、RC,ZC会で配布 してはどうか？と提案あり。次回のキャビネット会議で配布したい。</p> <p>同様にFBなどで330A災害支援掲示板を作成したい。情報共有と需要と供給のマッチング を目的。実際の災害時でインターネット(スマホ)の復旧が電気や電話線よりは早い。 →IT委員会と調整をしながら整備</p> <p>FB等での災害掲示板が出来上がると東京が被害にあった場合、世界中からの支援を 受ける土台になる。</p>

議 題	審議経過事項の概要
	<p>5. 南千葉への炊き出し支援企画(市村L)</p> <p>台風19号の影響もあり要検討。また、他のLCの意向や現地受け入れ態勢も調整して、意志の統一を図る必要がある。急いでやる必要はないかもしれない。</p>
	<p>7 救急救命士講習会について(芝田L)</p> <p>AEDは、フクダ電子からのリースで月6000円強(5年)。買取だと30万円以上。</p> <p>資格者を各クラブ事3, 4名は作りたい。AEDを必需品としてとらえる。</p> <p>本日のゲストでAED販売会社ライフトレーナーの円館様</p> <p>→各種AEDの取り扱いがあり、用途に応じて提案できる。</p> <p>講習会受講者を150名としたい希望が委員長から挙げられている。その集客は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LCメンバーだけでなく地域の方や他団体の方を交えたセミナーはどうか？ ・クラブ例会をAED勉強会例会として開催はどうか？ <p>芝田Lが主導して講習企画書(年間予定を含む)を10月中に提出願いたい</p> <p>(11月の第2回キャビネット会議の中に盛り込む場合→委員長はそれを希望)</p>
	<p>5. 台風19号の被害に対するジャパンアラートの活動とアラート委員会の今後(野村委員長)</p> <p>長野の被害は北陸や関西のLCが、東北のLCも茨城や栃木で動いている。</p> <p>アラートは実働するのではなく、年間計画、数年単位でシステムを作るのが目的。</p> <p>複合地区でも大変注目されていて、歴史に名を刻む活動になる。</p>
	<p>6. キャビネットより(柴田副幹事)</p> <p>台風の連続した被害の影響で、世間も危機意識が高まっている。</p> <p>募金活動もとても良い反響あり。</p> <p>掲示板やマニュアル他インフラ整備にキャビネットは多大な期待をしている。</p>